

新希望

東日本大震災希望新聞取材班
〒100-8051(住所不要) 毎日新聞生活報道部

ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災地に役立つ情報や「伝言板」への投稿をお待ちしています。被災者の今困っていることも募集します。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号(あればメールアドレスも)を明記してください。

伝言板

▼女性用の靴も 岩手県陸前高田市野宮町の野宮匠子(47)が、女性用の靴を求めています。津波で全壊した自宅に住んでいますが、祖母、母、野宮さんの3人とともサンダル1足しかなく、がれきの片づけにも困っています。サイズは33センチと23センチ、足幅はEで、長靴とスニーカーが1足ずつ3人分あると助かります。野宮さんは店も流さ

れ、買いに行くとどうあるかありません。どんな物でもいいです。と言っています。希望新聞として読者の方に新品を送ってくださるよう、お願いいたします。あて先は〒02092204、陸前高田市野宮町古谷2の1。ゆうパックは届くそうです。▼平野さん、押し車送ります 18日掲載の「押し車がある」と助かりました。と岩手県大槌町の平野ハルさんに宛てて、今度は西東京市の田中隆恵さん(67)から希望新聞にファクスが届きました。

た。押し車を送りたい。買う店がないと思われるので、送り先や身長、座れるタイプがわからないかなどをお聞きして、こちらで買って送りたいとのこと。田中さんの自宅(042-422-3477)に連絡してください。▼大学の過去問送ります 新潟県見附市の第一進学ゼミナールは、被災した高校3年生や浪人生に、大学入試の問題集を無料で送ります。未使用で、1冊に過去3、4年分の出題と解答が載っています。04年版が▽秋田

サポーター情報

東日本大震災

19日現在

交通

JR石巻線は19日、前谷地―石巻間の運転を再開させた。在来線の再開見込みは次の通り。
△仙石線▽東塩釜―高城町は今日下旬。高城町―石巻は未定。
再開見込みの立っていない路線は区間は次の通り。
△八戸線▽陸上―久慈
△岩泉線▽茂市―岩泉
△山田線▽宮古―釜石
△大船渡線▽気仙沼―盛岡
△気仙沼線▽柳津―気仙沼
△石巻線▽石巻―女川
△常盤線▽久浜―亘理
JR以外の路線の運行状況は次の通り。
△三陸鉄道北リアス線▽宮古―小本、陸中野田―久慈は運行。小本―陸中野田は再開未定。
△三陸鉄道南リアス線▽全線(盛、釜石)不通。再開未定。
△仙台空港アクセス鉄道▽仙台―仙台空港は運行。仙台―美田園(不通)名取―仙台園

労働・雇用

■面接会・募集 福島県と北海道の企業による合同面接・相談会 26日に同県郡山市、27日に福島市で開催。両日とも13時～16時(受け付けは15時半まで)で、参加企業は北海道16社、福島県10社。企業との面接、ハローワークによる職業相談のほか、住居などの生活相談にも応じる。無料。履歴書を持参。福島労働局、北海道労働局労働局、福島労働局、北海道労働局職業安定課024・529・5338

26日郡山市ビューホテル郡山市中町3の3。アビリティ(福島市野田町1の10の41)。あつま総合運動公園からシャトルバス(12時半、14時半)を運行。新潟県内の企業が正社員を募集 関東産業団地(阿賀野市かかやき)の3社が正社員計12人を募集している。特殊印刷業の真丸特殊紙業(本社・愛知県江南市5人)いすゞも工作機械製造業のプライト(阿賀野市5人)クボ製作所(同、2人)。対象は災害救助法適用地域の企業に勤めていて失業した人や、内定が取り消しになった人、任用していた人。面接の上、採用を判断。機械の操作方法などは、専門機関で研修を受けられる。市が来年3月末までの人員費、研修費など計6500万円を助成。用地を10年間無償貸与する

福島県ユニセフ協会が「おもいっきり〜とあそび」プロジェクトを始めた。子どもが外で遊ぶ環境を整えている福島県で、安心して遊ぶことのできる場所を提供して心のケアにつなげる。福島市内と県外のコースがあり、運動や学習などの目的別。運動コースは、県内が背あふり山や福島空港公園、県外は山形市の野田園や宮城県川崎町のみちのくの湖畔公園などを体動かす。ユニセフが現地までバスを出

「おもいっきり〜とあそび」プロジェクト 被災者支援みやこ復興まつり 22日10時～12時、23日10時～12時、24日10時～12時、25日10時～12時、26日10時～12時、27日10時～12時、28日10時～12時、29日10時～12時、30日10時～12時、31日10時～12時

「おもいっきり〜とあそび」プロジェクト 被災者支援みやこ復興まつり 22日10時～12時、23日10時～12時、24日10時～12時、25日10時～12時、26日10時～12時、27日10時～12時、28日10時～12時、29日10時～12時、30日10時～12時、31日10時～12時

「おもいっきり〜とあそび」プロジェクト 被災者支援みやこ復興まつり 22日10時～12時、23日10時～12時、24日10時～12時、25日10時～12時、26日10時～12時、27日10時～12時、28日10時～12時、29日10時～12時、30日10時～12時、31日10時～12時

「おもいっきり〜とあそび」プロジェクト 被災者支援みやこ復興まつり 22日10時～12時、23日10時～12時、24日10時～12時、25日10時～12時、26日10時～12時、27日10時～12時、28日10時～12時、29日10時～12時、30日10時～12時、31日10時～12時

「おもいっきり〜とあそび」プロジェクト 被災者支援みやこ復興まつり 22日10時～12時、23日10時～12時、24日10時～12時、25日10時～12時、26日10時～12時、27日10時～12時、28日10時～12時、29日10時～12時、30日10時～12時、31日10時～12時

「おもいっきり〜とあそび」プロジェクト 被災者支援みやこ復興まつり 22日10時～12時、23日10時～12時、24日10時～12時、25日10時～12時、26日10時～12時、27日10時～12時、28日10時～12時、29日10時～12時、30日10時～12時、31日10時～12時

「おもいっきり〜とあそび」プロジェクト 被災者支援みやこ復興まつり 22日10時～12時、23日10時～12時、24日10時～12時、25日10時～12時、26日10時～12時、27日10時～12時、28日10時～12時、29日10時～12時、30日10時～12時、31日10時～12時

「おもいっきり〜とあそび」プロジェクト 被災者支援みやこ復興まつり 22日10時～12時、23日10時～12時、24日10時～12時、25日10時～12時、26日10時～12時、27日10時～12時、28日10時～12時、29日10時～12時、30日10時～12時、31日10時～12時

イベント

JR宮古駅前アリーマケット会場 矢野、八幡平からの産直野菜や女性向け春物衣料などを無料配布(1人1袋から)。弁護士らの「震災なんでも相談」コーナーも設置。宮古民主商工会0193・62・5808

映画「奇跡」チャリティ上映会 21日に仙台市22日に福島市で開催。九州新幹線開通をモチーフに、子どもたちと家族のきずなを描いた内容。上映後は、被災地を回った校長と監督が話す。料金3000円。売り上げはあしなが育英会に寄付。両市の会場などは、仙台市21日17時、千葉・ラヴィータ(宮城野区福岡2)、0202・299・5555

住宅相談 第二東京弁護士会消費問題対策委員会は24日10時～16時、震災で住宅や建築被害を受けた人を対象に「住宅・建築法律相談」10番(03・311003)で盛岡地方裁判所 平日

法務相談 法務局は、家賃が倒壊・流失した場合の建物引渡権を紛失した場合の対応などの相談に応じる。盛岡地方裁判所 平日

ボランティア ボランティアの募集 仙台市健康福祉局障害企画課022・214・8163、同健康福祉局障害者支援課(自立支援医療)022・214・6135

ボランティア ボランティアの募集 仙台市健康福祉局障害企画課022・214・8163、同健康福祉局障害者支援課(自立支援医療)022・214・6135

ボランティア ボランティアの募集 仙台市健康福祉局障害企画課022・214・8163、同健康福祉局障害者支援課(自立支援医療)022・214・6135

ボランティア ボランティアの募集 仙台市健康福祉局障害企画課022・214・8163、同健康福祉局障害者支援課(自立支援医療)022・214・6135

福祉

知的障害や発達障害、障害のある子供を持つ親からの相談に応じる。障害児・知的障害・発達障害者関係団体対策連絡協議会現地対策本部(8時20時)▽岩手県090・5351・1378▽宮城県090・2909・4066か090・2909・3965▽福島県080・18059・3844

知的障害や発達障害、障害のある子供を持つ親からの相談に応じる。障害児・知的障害・発達障害者関係団体対策連絡協議会現地対策本部(8時20時)▽岩手県090・5351・1378▽宮城県090・2909・4066か090・2909・3965▽福島県080・18059・3844

知的障害や発達障害、障害のある子供を持つ親からの相談に応じる。障害児・知的障害・発達障害者関係団体対策連絡協議会現地対策本部(8時20時)▽岩手県090・5351・1378▽宮城県090・2909・4066か090・2909・3965▽福島県080・18059・3844

知的障害や発達障害、障害のある子供を持つ親からの相談に応じる。障害児・知的障害・発達障害者関係団体対策連絡協議会現地対策本部(8時20時)▽岩手県090・5351・1378▽宮城県090・2909・4066か090・2909・3965▽福島県080・18059・3844

知的障害や発達障害、障害のある子供を持つ親からの相談に応じる。障害児・知的障害・発達障害者関係団体対策連絡協議会現地対策本部(8時20時)▽岩手県090・5351・1378▽宮城県090・2909・4066か090・2909・3965▽福島県080・18059・3844

知的障害や発達障害、障害のある子供を持つ親からの相談に応じる。障害児・知的障害・発達障害者関係団体対策連絡協議会現地対策本部(8時20時)▽岩手県090・5351・1378▽宮城県090・2909・4066か090・2909・3965▽福島県080・18059・3844

知的障害や発達障害、障害のある子供を持つ親からの相談に応じる。障害児・知的障害・発達障害者関係団体対策連絡協議会現地対策本部(8時20時)▽岩手県090・5351・1378▽宮城県090・2909・4066か090・2909・3965▽福島県080・18059・3844

知的障害や発達障害、障害のある子供を持つ親からの相談に応じる。障害児・知的障害・発達障害者関係団体対策連絡協議会現地対策本部(8時20時)▽岩手県090・5351・1378▽宮城県090・2909・4066か090・2909・3965▽福島県080・18059・3844

被災地へボランティアに行くには

各地の災害ボランティアセンター(VC)が被災地で活動するボランティアを募集している。電話で問い合わせる前に各サイトで情報の確認を。また、被災地に赴く前に居住地の社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入することが望ましい。主なVC窓口は次の通り。

◆陸前高田市VC 090-1344-5763 または090-2852-9736 県外からはグループ単位で要事前連絡
◆大槌町協同VC 080-3518-8490 5人以上の団体で要事前登録。個人参加は県VCの盛岡発ボランティアパスを利用する
＜宮城県＞
各VCが県外からの個人ボランティアも受け付けている。詳細は各VCのサイトで。
◆仙台市VC 022-262-7294 5人以上での参加は要事前申し込み
◆石巻市VC 0225-23-6015 10人以上の団体は要事前連絡
◆塩釜市VC 080-1679-8988 21、22日は活動休止
◆気仙沼市VC 080-5949-7475 JR-ノ関駅発着の送迎バス(先着20人)を20日まで運行。朝8時発で帰りは17時半着
◆名取市VC 022-784-3029 団体は要事前問い合わせ
◆多賀城市VC 080-5949-7501 土のう袋が不足しているため、なるべく持参

◆岩沼市VC 080-5949-7541 8人以上の団体は要事前申し込み
◆東松島市VC 0225-83-5001 車中泊スペースあり。土のう袋をなるべく持参。5人以上のグループは前々日までに申し込み
◆亘理町VC 080-5949-7719
◆山元町VC 080-5949-7720 前日までに要申し込み
◆七ヶ浜町VC 090-6853-4490 団体は要事前申し込み
◆南三陸町VC 080-2055-1066 団体は受け入れていない
＜福島県＞
4市町で県外ボランティアも募集中。特に南相馬市VC、新地町VC、いわき市VCでニーズが高い。
◆県VC 090-2852-9618 または090-2852-9478 21日～6月5日の毎週土日、JR郡山駅西口発着でいわき市へのボランティア送迎バスを運行。昼食込み1000円、要事前申し込み024-521-1341
◆相馬市VC 0244-36-7827
◆南相馬市VC 0244-24-1877
◆新地町VC 0244-62-5577 要事前確認。テント泊、車中泊は禁止
◆いわき市VC 0246-22-5501

◆遠野市VC「遠野まごころネット」0198-62-1001 遠野市発着便で沿岸部の被災地に毎日ボランティアを派遣。登録も随時受け付け。要事前申し込み。寝袋持参で体育館宿泊可
◆宮古市VC 090-4478-3984 10人以上のグループ単位で受け入れ。1週間前までに電話連絡し調整

◆岩手県 各VCや各社協が内陸部に拠点を設け、沿岸部の被災地に送迎バスを出している。
◆県VC 019-637-7594 サイトでは個人参加できるボランティアパスの運行状況や各VCの募集情報を公開中
◆遠野市VC「遠野まごころネット」0198-62-1001 遠野市発着便で沿岸部の被災地に毎日ボランティアを派遣。登録も随時受け付け。要事前申し込み。寝袋持参で体育館宿泊可
◆宮古市VC 090-4478-3984 10人以上のグループ単位で受け入れ。1週間前までに電話連絡し調整

◆岩手県 各VCや各社協が内陸部に拠点を設け、沿岸部の被災地に送迎バスを出している。
◆県VC 019-637-7594 サイトでは個人参加できるボランティアパスの運行状況や各VCの募集情報を公開中
◆遠野市VC「遠野まごころネット」0198-62-1001 遠野市発着便で沿岸部の被災地に毎日ボランティアを派遣。登録も随時受け付け。要事前申し込み。寝袋持参で体育館宿泊可
◆宮古市VC 090-4478-3984 10人以上のグループ単位で受け入れ。1週間前までに電話連絡し調整

◆岩手県 各VCや各社協が内陸部に拠点を設け、沿岸部の被災地に送迎バスを出している。
◆県VC 019-637-7594 サイトでは個人参加できるボランティアパスの運行状況や各VCの募集情報を公開中
◆遠野市VC「遠野まごころネット」0198-62-1001 遠野市発着便で沿岸部の被災地に毎日ボランティアを派遣。登録も随時受け付け。要事前申し込み。寝袋持参で体育館宿泊可
◆宮古市VC 090-4478-3984 10人以上のグループ単位で受け入れ。1週間前までに電話連絡し調整

◆岩手県 各VCや各社協が内陸部に拠点を設け、沿岸部の被災地に送迎バスを出している。
◆県VC 019-637-7594 サイトでは個人参加できるボランティアパスの運行状況や各VCの募集情報を公開中
◆遠野市VC「遠野まごころネット」0198-62-1001 遠野市発着便で沿岸部の被災地に毎日ボランティアを派遣。登録も随時受け付け。要事前申し込み。寝袋持参で体育館宿泊可
◆宮古市VC 090-4478-3984 10人以上のグループ単位で受け入れ。1週間前までに電話連絡し調整

「イケナイ」ので「行動」

昔から「がんばれ」「がんばろう」が嫌いな私は、当然それに付随するボランティアとか協力とか、協賛という行動は、あまり積極的ではありません。むしろそれから遠くに居るようになりたい。なせってそれはほとんど天災だからです。と

画家・岡田嘉夫さん 似顔絵

着の身着のままの遺族が遺体へ手を添えてお別れ。震災3日目を迎えた。と曹洞宗を含め市内の13寺と葬儀業者が話し合い、僧侶が交代で塩釜斎場に詰められた。震災1週間後ごろから本格的な火葬が始まり、

分かった遺族が葬祭ホールに。震災3日目を迎えた。と曹洞宗を含め市内の13寺と葬儀業者が話し合い、僧侶が交代で塩釜斎場に詰められた。震災1週間後ごろから本格的な火葬が始まり、

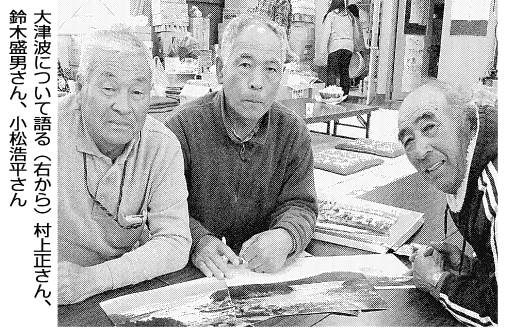
分かった遺族が葬祭ホールに。震災3日目を迎えた。と曹洞宗を含め市内の13寺と葬儀業者が話し合い、僧侶が交代で塩釜斎場に詰められた。震災1週間後ごろから本格的な火葬が始まり、

分かった遺族が葬祭ホールに。震災3日目を迎えた。と曹洞宗を含め市内の13寺と葬儀業者が話し合い、僧侶が交代で塩釜斎場に詰められた。震災1週間後ごろから本格的な火葬が始まり、

分かった遺族が葬祭ホールに。震災3日目を迎えた。と曹洞宗を含め市内の13寺と葬儀業者が話し合い、僧侶が交代で塩釜斎場に詰められた。震災1週間後ごろから本格的な火葬が始まり、

分かった遺族が葬祭ホールに。震災3日目を迎えた。と曹洞宗を含め市内の13寺と葬儀業者が話し合い、僧侶が交代で塩釜斎場に詰められた。震災1週間後ごろから本格的な火葬が始まり、

「カツオ船再び見たい」



大津波について語る(右から)村上正人、鈴木盛男さん、小松浩平さん

カツオ船再び見たい
宮城
気仙沼市唐桑町立の避難所で生活している養殖業者の村上正人(71)と、元漁師の鈴木盛男さん(66)、小松浩平さん(71)一津波を甘く見るなど強々言っていた。メカニズムをうまくよく教えるべきで、受験問題に出してもいいくらいだ。カツ

希望新聞

被災の山田高元気な姿

東日本大震災で被害のほりが掲げられ、小山健人監督(右)。倉の大きかった岩手県山田高元気な姿。山田高元気は、山田高元気(山田)の球。田高は7安打を打ち、19日、高校野球の得点圏に何度も走者を進めた。十分戦える。大会に思いをはせた。手心はつかめた。【大原和宏、写真も】

試合前の整列に臨む山田高の選手たち
—岩手県花巻市で19日午前8時56分

放射能便乗商法 1400件超す

東日本大震災による福島第1原発事故以降、放射能汚染への不安に便乗した商法が全国で相次ぎ、国民生活センターへの相談が事故発生から2カ月余りで1400件を突破した。放射性物質の除去や被ばくの低減をうたった健康食品や浄水器の他、架空の未公開株や社債の売り付けまで手口はさまざま。トラブルも少なくないという。同センターは注意を呼び掛けている。同センターによると、インターネットを中心に事故後、

国民生活センター調べ、2カ月で手口が多様化

商品の宣伝が急増。「酵母を大きな問題だ。実態以上に危使った健康食品に、被ばく低減効果があるのか」「浄水器売の常手手段。伝聞を信じて本当に放射能を除去できるのか」などの相談が寄せられた。浄水器の中には効果が科学的に証明されていないのに約25万円するものもあった。同センターへの相談、苦情は16日現在で計1413件。未公開株や社債を売りつける代替医療や疑似科学の問題に詳しい菊池誠・大阪大学教授は、4月末までに約50件を数え、「ありもしない効果に頼り、有効な医療を受けたり対策をとったりする機会を失うなら

時代を駆ける

YOSHINORI KANEKO
金子 美登 (9)
有機農業の自給に
見通しがつき、94年から
はバイオマスや太陽光など
身近にある資源でエネ
ルギーの自給を試みた。生
始めにバイオガスの
生成に取り組んだ。牛の
頭、ふん尿と台所で流し
た水などを発酵槽に入れ
、微生物の働きによ
って発酵させる。発生した
メタンガスは、湯わか
しなどに利用する。また
、そのときに出るメタン
発酵消化液は液肥として
畑や田んぼの追肥に使
っている。

エネルギーも自給する



食店や豆腐店などから回収した廃食油を遠心分離機にかけてごみを取り除き、エンジンに熱交換器を付けた。バイオディーゼル燃料の切り替え、3リットルから5リットル(ストレート・ベンツァル・オイル)。近くの飲

岩手

大槌町の安達小に避難している佐藤正治さん(70)。「2年前に妻が亡くなってから一人で暮らしていた家が津波で流された。海はこうで、今から目標を立ててやろうかなって考えているんだ」

福島

南相馬市で、写真などの汚れを落とす災害ボランティアをして、東京の会社員、阿部正治さん(47)。「コンピュータ関係の会社に勤めています。土日にボランティアで、作業を続けています」

Q 震災の影響で収入が途絶えたり、不安定です

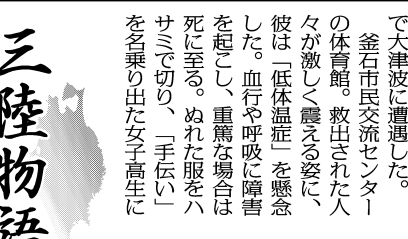
失業給付
会社(事業者)が地震や津波原災事故で休業し、賃金がもらえない場合、その会社で6カ月以上働いていた人は雇用保険の失業給付を受けられます。会社を辞めるわけではなく、再び働める予定でも受給可能です。給付額は、震災による離職前の賃金の半分(8割近く)で、年齢や離職前の賃金、働いていた期間によって決まります。給付日数は震災による特別財政援助法成立で90~420日になり、人によって異なります。原則口手続は全国共通で、事業者、労働者とも離職前の最寄りのハローワークで行います。本人確認用の保険証や給与明細など各種書類がない場合は、会社と連絡がとれない場合でも、柔軟に対応しています。避難所を巡回する「出張労働相談」でも対応します。

被災保険
労災保険の適用がある会社で働いていると、仕事で通勤中に地震や津波でけがが死した場合は、本人や家族が労災保険からさまざまな給付を受けられます。勤務中に避難し、途中で死亡、けがをした場合も認められます。家族の生計を担っていた人が亡くなった場合、家族には「遺族年金」が給付されます。年金額は本人の賃金を基に計算しますが、家族の人数や年齢構成などによって異なります。

解雇回避へ
労働基準監督署で、同署の出張相談も利用できます。労働者に休業手当を支払って、雇用を維持するための方法を見つけ、会社が倒産した場合に会社が会社員に代わって賃金の6割を立て替える制度もありません。この制度も今回、手続が簡素化されました。これらの制度の相談は最寄りの労働基準署で受け付けています。【錦織祐一、中村美奈子、山崎友記子】

夜半の応援に安堵

「消防士は10年やって一人前」だそう。掘切友哉さん(26)が岩手県遠野市消防本部に勤めて7年半。「交通事故と火事かたまたま」というのが、かな里山の消防士が、まだまだ居合わせた釜石市で津波に遭遇した釜石市民交流センターの体育館。救出された人々が激しく震える姿に、彼は「低体温症」を懸念した。血行や呼吸に障害を起し、重篤な場合は死に至る。ぬれた服をハサミで切り、「手伝い」を名乗った女子高生に

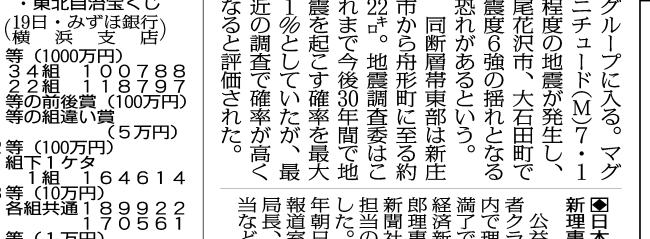


遠野市の消防士 堀切友哉さん②

「三陸物語」は火と土曜日に掲載します。

アマの金さん本戦入り

阿含・桐山杯八段破る
アマチュアも参加して早稲日本一を争う阿含・桐山杯第18期全日本早稲オープン戦(日本棋院主催、毎日新聞社主催)が、19日、東京都千代田区の日本棋院会館で行われ、韓国出身のアマ金成進さん(27)がトップ棋士の加藤嘉志八段(36)を破り、本戦入り(16人)を決めた。



阿含・桐山杯八段破る

「三陸物語」は火と土曜日に掲載します。